

概要：

このテクノートは、ListenTALK システムを使用して現場のユーザーとリモートの個人がウェブ会議ソフトウェアを介して対話できる方法を紹介することです。これは、リモートで職場、ツアー、プレゼンテーション、または教室の指導に参加する必要がある個人にとって特に有益です。また、現場で他の個人（例：同僚、講師、またはクラスメート）とコミュニケーションを取る追加の利点を提供する場合があります。必要なコンポーネント、アプリケーションの概要、およびセットアッププロセスについて説明します。

*この技術ノートで説明されているソフトウェアは、本文書が公開された時点で Listen Technologies のテクニカルサポートチームによってテストされています。これには、Skype、Zoom、GoToMeeting、および TeamViewer が含まれます。ユーザーはこのリストに限定されませんが、未テストの他のソフトウェアと ListenTALK システムの互換性やサポートを保証することはできません。

**また接続される環境・配線の状況によってはグラウンドループ・外来ノイズ等の本製品が発生させているものでない外部ノイズが発生する可能性があります。この場合は LK-1 本体だけでは対処できない為、音声ミキサー・オーディオインターフェースやグラウンドループアイソレーターを使用してください。外部ノイズに関してはサポートすることができません。

必要なコンポーネント：

- ListenTALK 送受信機 / リーダーユニット (LK-1)
- ListenTALK ユニット

注意：双方向通信には LK-1 が必要です

- ListenTALK スマートフォンケーブル (LA-449)
- 会議ソフトウェアまたはアプリ (Skype、Zoom 等)
- ユーザーデバイス (コンピューター、スマートフォン、またはタブレット)

スマートフォンやタブレットを使用する場合、3.5mm の TRRS (チップリングリングスリーブ) ヘッドセット入力コネクタが必要です。

- 必要に応じて：TRRS メス入力からメスマイク/ヘッドホン Y 出力アダプター。これは、マイクとヘッドホンの接続が別々のコンピューターに必要です。
- 必要に応じて：デバイス側の音量が充分確保でない場合は、音声ミキサー・オーディオインターフェース等の外部デバイスが必要です。以降の項目に記載されている LK-1 側の音量を上げすぎると、音声明瞭度が低下します。



Lightning to 3.5mm Headphone Jack Adapter
(Apple Devices)



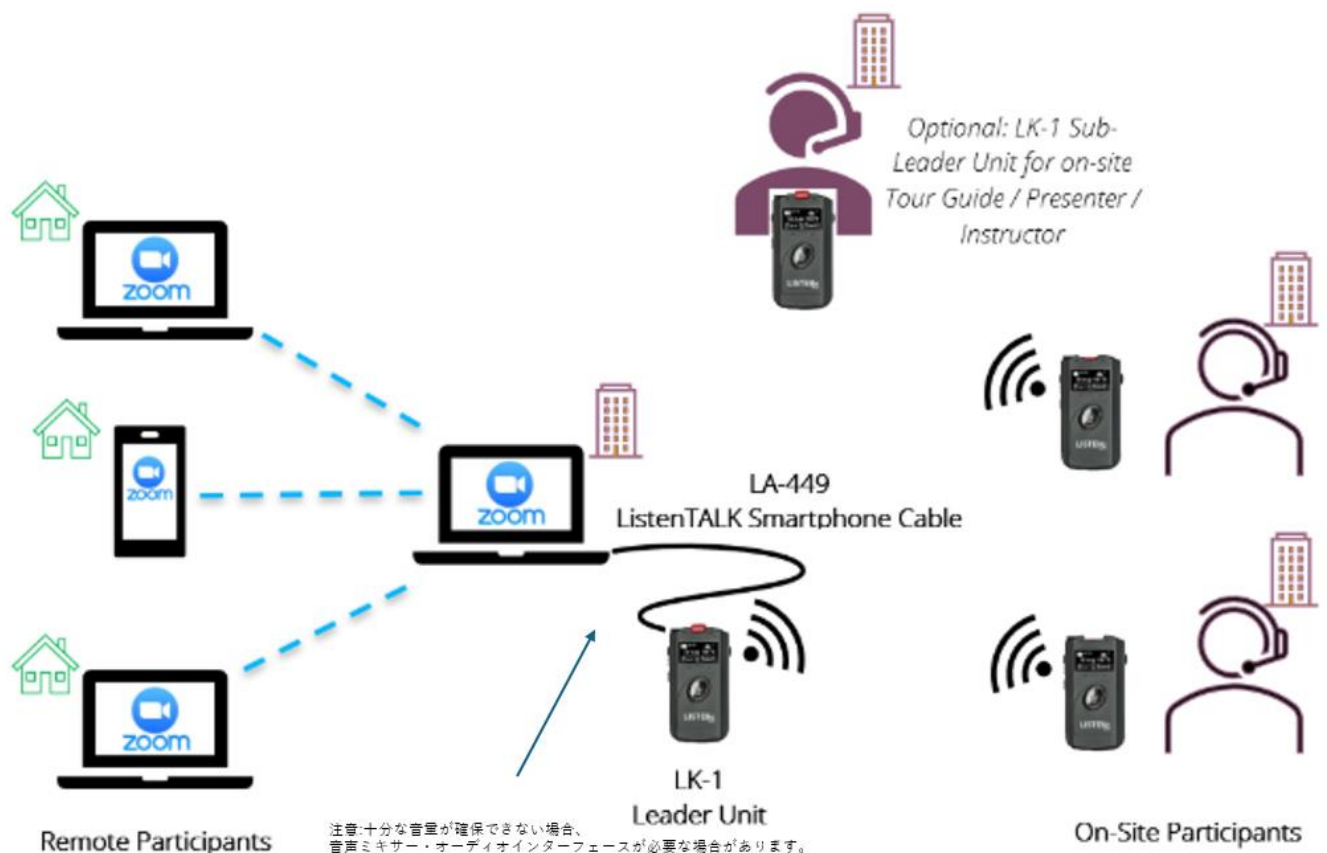
USB Type-C to 3.5mm Headphone Jack Adapter
(Android Devices and Apple devices)

このアプリケーションでは、1つのLK-1リーダーユニットがLA-449スマートフォンケーブルを使用してコンピューター、スマートフォン、またはタブレットのいずれかに接続されます。

* このアプリケーションはすべてのユーザーデバイスで動作するわけではありません。一部のデバイスにはマイク入力やヘッドホン出力がない場合があります。不明な場合は、デバイスの取扱説明書やメーカーにご相談ください。

** LKR-11 または LKR-12 ユニットはオーディオを受信することしかできません。会話をすることはできません。

Application Overview:



LK-1 リーダーの設定:

最適なパフォーマンスを得るために、LK-1 リーダーユニットの一部の設定を変更または調整する必要がある場合があります。設定は、送受信機ユニットの内部プログラミングメニュー内で調整するか、ListenTALK ソフトウェアスイートを介して調整できます。

• Side Tone サイドトーン

サイドトーン設定を **OFF** にすることを推奨します。この設定を無効にしないと、リモート参加者が自分の声のエコーを聞くことがあります。注：デフォルトでは、サイドトーンはノーマルに設定されています。

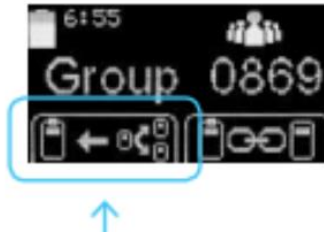
• Volume Level 音量レベル

現場の参加者の声のレベルまたは現場の参加者が使用するマイクのレベルは異なる場合があります。音量レベルを適切に調整してください。音量をあまりにも上げると、不要なノイズが増えます。通常、理想的な音量レベルは約 50% です。デバイス側に十分な音量が確保できない場合は音声ミキサーやオーディオインターフェースを使用してください。

• Talkback Mode トークバックモード

トークバックモードはユーザーがお互いに通信する方法を決定します。ほとんどのアプリケーションでは、すべてのユーザー間でのオープンな通信が必要です。これを確実にするには、グループ/ディスカスモードを有効にする必要があります。これは、右側の画像にあるトークバックアイコンで識別されます。

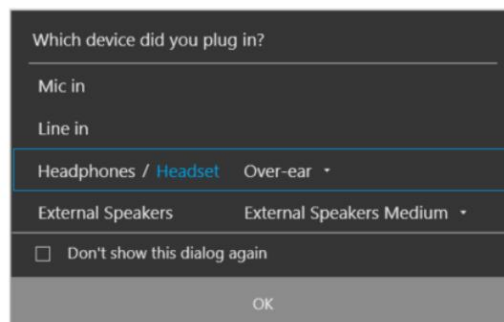
その他のトークバックモードのオプションについては、ユーザーマニュアルを参照してください。



接続方法：

LA-449 の一端を LK-1 リーダーユニットのヘッドフォンジャックに挿し、もう一端を希望のデバイス（コンピューター、スマートフォン、またはタブレット）のヘッドフォンジャックに挿します。デバイスにアダプターが必要な場合は、前述の必要なコンポーネントセクションを参照して詳細を確認してください。

- スマートフォンやタブレットへの接続：スマートフォンやタブレットへの接続では、ListenTALK ユニットが自動的にヘッドセットとして認識されるはずです。認識されない場合は、デバイスのマニュアルを確認してください。
- Windows コンピューターへの接続：Windows コンピューターには、3.5mm コンボポートまたは独立したマイクとヘッドフォンジャックがあります。以下の手順を参照してください。
 - o 3.5mm コンボポート：Microsoft Windows を実行している多くのコンピューターには、さまざまな方法で機能するジャックがあります。LA-449 を接続すると、「どのデバイスを接続しましたか？」というプロンプトが表示されます。ヘッドセットを選択して、OK を選択します。



- o 独立したマイク/ヘッドフォンジャック：これには、TRRS メスからオスのマイク/ヘッドフォン Y 出力アダプターが必要です。

LK-1 ユニットの TRRS メス端子に LA-449 を使用して接続します。マイクのコネクター（通常はピンク色）はマイク接続に挿し、ヘッドフォンのコネクター（通常は緑色）はヘッドフォン接続に挿します。]

注：コンピューターのオーディオ入力と出力デバイスを手動で設定する必要がある場合があります。

- macOS コンピューターへの接続：macOS コンピューターには 3.5mm コンボポートまたは独立したマイクとヘッドフォンジャックがあります。以下の手順を参照してください。
 - o 3.5mm コンボポート：3.5mm コンボポートを備えた Mac コンピューターでは、ListenTALK ユニットが自動的に

ヘッドセットとして認識されるはずですが、これがデフォルトの入力および出力デバイスになります。認識されない場合は、Apple デバイスの操作を確認してください。

o 独立したマイク/ヘッドフォンジャック：これには、TRRS メスからオスのマイク/ヘッドフォン Y 出力アダプターが必要です。LA-449 を使用して LK-1 ユニットの TRRS メス端子に接続します。マイクのコネクターはマイク接続に、ヘッドフォンのコネクターはヘッドフォン/スピーカー接続に挿します。

注：コンピューターのオーディオ入力と出力デバイスを手動で設定する必要がある場合があります。

一般的な会議ソフトウェアのセットアップ例（外部デバイスの為サポート外）：

注：本項目は様々なデバイス・ソフトウェアの中の一例となっており、必要に応じてマニュアルを参照してください
LK-1 リーダーユニットをデバイスに接続したら、希望の WEB 会議ソフトウェアを開きます。ソフトウェア内でいくつかのオーディオ調整が必要な場合があります。これらの調整は通常、セッション/ミーティングの中や外で行うことができます。次の手順でこれらの設定を確認または調整します。

デバイス（PC・スマートフォン）や WEB 会議アプリケーションにはデバイス自体の音量・WEB 会議音量・その他音量設定等、様々な音量設定項目があります。こちらの設定が充分でない場合、LK-1 に必要とされる音量が不足し、明瞭な通話をすることができません。

1. 設定に移動します。これは通常、歯車アイコンまたは省略メニューアイコンで示されます。
2. オーディオ/オーディオ&ビデオ/オーディオ会議セクションに移動します。
3. オーディオ設定を次のように調整します：
 - a. 入力/マイク：ジャックマイク（一部のコンピューターではデフォルトデバイスと表示される場合があります）
 - b. 出力/スピーカー：スピーカー/ヘッドフォン（一部のコンピューターではデフォルトデバイスと表示される場合があります）
4. 音量が希望のレベルに設定されていることを確認します。
5. 必要に応じて、OK または保存を選択します。

以上